

保 健 通 信

令和4年6月14日

1年生思春期講話を開催しました

『守りたい 貴方の命を 奇跡の命を ～知ってほしい 生と性』

6月8日(水)に、真理子レディースクリニックの伊藤真理子先生を講師に思春期講話が開催されました。冒頭で「知らないことが一番こわい」という言葉があり、生徒の皆さんに知ってほしいこと、特に月経(生理)・性感染症・妊娠について話をさせて頂きました。

1. 月経は、個人差が大きいのが特徴だが、現在は痛みも時期も回数も自分でコントロールできる時代だということ、2. スライドによるカンジダ、ヘルペス、クラミジアなどの性感染症の症状について、3. コンドームやピルなどの避妊法や「危ない」



と思った時の緊急避妊(アフターピル)について、教えていただきました。

また、子宮頸がんワクチンの予防効果(70%)や将来の身体づくりにつながる現在の食の重要性にも触れられました。

「皆さんの夢に向かって生きるために、自分を大切にしてください 自分の体(いのち)は自分で守りましょう」

「受けついであなたの『命』大切にしてください」
真理子先生から生徒の皆さんへのメッセージです。

3年生保護者対象SC講話を開催しました

『高校生のこころの支援』

6月11日(土)、3年次進路講演会において、保護者の皆様を対象に、本校スクールカウンセラーの区藤良先生を講師に『高校生のこころの支援』と題して講話を頂きました。

子どもの自殺はいじめよりも実は家庭・進路の問題の原因が多いこと、ほっとできる自分の居場所がどこにもないと答えている子どもが増えていること、カウンセリングをしていると、わかってもらえない、叱られる、心配かけたくない、泣かれると思って親には話せない・話したくない子どもがいる・・・という実情が示されました。

そういった実情を踏まえ、区藤先生からは、『子どもが失敗した時や上手くいかなかった時こそ感情を共有し、どのように解決するかについては、子どもに主導権を持たせましょう』という大人の

心構えと、①話をかわす・はぐらかす ②叱咤激励する ③ジャッジする・批判する・持論を述べることはしないように という子どもの話を聴く際の3つの大事なポイントをご教示いただきました。大人が変わることで、子どもに安心してもらえる環境を作っていきたいものです。

